

2025年9月号
Vol. 241

arch-tsushin

あーち通信

あーちは今年で開所20周年！

あーちは、9月で開所20周年を迎えます。これを記念して
楽しいプログラムを企画しましたので、ぜひご参加下さい！



灘区保育サービスコーディネーター藤永さんによるお話し会
教えて！灘区の保育 ～保育所編～

灘区の保育・教育施設の紹介、保育サービスの内容や利用方法
をご説明します。質問や個別相談もお気軽に！

日時：9月3日(水) 10:45～12:00

場所：ふらっと・あーち



手作りおもちゃであそぼう！

身近な材料でおもちゃを手作りしたり、アイデア溢れる手作り
おもちゃで、楽しく遊びましょう！お家で簡単に作れる工作キ
ットのプレゼントもあります。(先着20名)

日時：9月16日(火) 10:30～12:00

場所：ふらっと・あーち

あーち人形劇団「むー」スペシャルデー

歌やパネルシアター、絵本の読み聞かせなど。みんな一緒に
楽しい時間を過ごしましょう

日時：9月20日(土) 午前の部 11:00～/午後の部 13:30～

場所：こらぼ・あーち

あーち開設20周年記念イベント

その1. みんなの手形で飾ろう！壁面アート

3階エレベーターホールの壁面装飾を新しく制作します。み
なさんの手形を葉っぱや花に見立てて飾りますので、どう
ぞお楽しみに！ ※完成は9月中旬の予定です。

その2. あーちオリジナル名札プレゼント！

9月中に来館された方へ、スタッフ手作りの名札をお配りし
ます。 ※お子さま1人につき1個。なくなり次第終了。

えんじえる君II by Bon

20年だって！

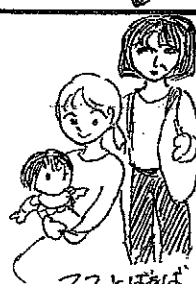
あーちに来ていたあの人は



10才頃か... 20才



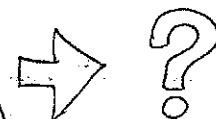
10才の子どもと親は...



ママとはあは



20才の学生ボランティアさんは...



全国各地で
活躍中!! はず
20才の学生ボランティアさんは... どうしているのか...?

ワオだった Ten と Manchu は...
(ダウン症) (自閉症)



ひとり
英語や
シム
ア
も

のびやかスペース あーち

祝20年

9月予定表

		こらぼ・あーち	ふらっと・あーち
1	月	休	館
2	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00	
3	水		教えて!灘区の保育(保育所編) 10:45~12:00
4	木		
5	金	よる・あーち 17:00~19:20	
6	土	プラレール広場 10:30~16:00	あーちクローゼット 13:30~16:00 ※情報コーナー
7	日	休	館
8	月	休	館
9	火		
10	水	月イチwith 10:30~12:00	
11	木		ベビーマッサージ 11:00~12:00
12	金	よる・あーち 17:00~19:20	
13	土	おはなしの国 11:00~11:30	あらかると音楽あそび 14:30~15:00
14	日	休	館
15	月	休	館
16	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00	手作りおもちゃであそぼう! 10:30~12:00
17	水		
18	木		
19	金	よる・あーち 17:00~19:20	リフレッシュYOGA 10:45~11:45
20	土	あーち人形劇団「むー」スペシャルデー 午前の部11:00~ 午後の部13:30~ ギフトッド寺子屋KOBÉ 13:00~16:00 ※ゆーす	
21	日	休	館
22	月	休	館
23	火	休	館
24	水		
25	木		ベビーマッサージ 11:00~12:00
26	金	よる・あーち 17:00~19:20	
27	土	おもちゃ病院 13:00~15:30	
28	日	休	館
29	月	休	館
30	火		ふらっとリトミック 11:00~11:30



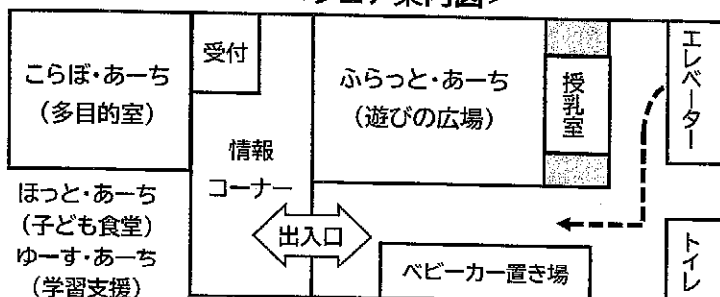
- ・プログラムは自由に参加・見学ができます。年齢制限はありません。また、都合により変更することがあります。
- ・ふらっと・あーちでプログラムが行なわれている間、プログラムに参加されない方もふらっとを利用できますが、遊べるスペースは狭くなります。どうぞご了承ください。

※ベビーマッサージに参加される方は、お子さんに合ったベビーオイルと、バスタオルを1枚お持ちください。

また、初めてあーちを利用される方は受付に10分ほどかかりますので、開始時刻より早めにご来館ください。

※リフレッシュYOGAに参加される方は、ヨガマットやバスタオルなどの敷物を1枚お持ちください。

<フロア案内図>



ふらっと相談員

～お気軽にお声がけください～

水曜 午前 保健師・保育士

水曜・木曜・土曜(不定期) 助産師



お電話でも相談できます

<プログラムのご案内>

- ★あーちクローゼット…着なくなったこども服を持参ください。他の服と交換できます。(持ち込みのみ可)
- ★あーち人形劇団「むー」…自分の好きなこと、できることを持ち寄って、一緒に人形劇遊びをしませんか？
- ★あらかると音楽あそび…手作り紙芝居や大型絵本に、おもしろい音や音楽を合わせた楽しい音楽遊びです。
- ★おはなしの国…ろうそくが灯ったらおはなしの世界のはじまりです。(絵本の読み聞かせ)
- ★おもちゃ病院…ドクターが壊れたおもちゃを治します。(当日の修理はできません。)

※おもちゃ病院の情報は Facebook 神戸・灘おもちゃの病院 でご覧ください。

- ★ギフトテッド寺子屋 KOBE…ギフトテッドのこどものための居場所です。保護者同士の情報交換もできます。
- ★月イチwith…参加者それぞれの困りごと悩みごとについて語り合い、お互いに元気を分かち合いましょう
- ★ふらっと リトミック…リズムを感じて自由に体を動かしましょう！赤ちゃんは抱っこでも参加できます。
- ★プラレール広場…広いマットの上で自由に電車遊びができます。(係員は不在です。)
- ★ベビーマッサージ…赤ちゃんをやさしくマッサージしながら、親子でふれあいの時間を楽しみましょう。
- ★よる・あーち…「居場所づくり」「学習支援」「子ども食堂」を一緒にしたプログラム。いろいろな年齢の参加者が交流し、学びあっています。
- ★リフレッシュYOGA…肩こり・腰痛を軽くするポーズを中心にした、自宅でも簡単にできるYOGAです。

<あーち利用のご案内>

利用時間 火～土 10:30～16:00 (ランチタイム 12:00～12:45)

※ランチタイムの間は、おもちゃで遊ぶことはできません。

金曜日のみ 17:00～19:20 よる・あーち(居場所づくり・学習支援・子ども食堂)

注意事項 オムツやゴミは各自でお持ち帰りください。灘区民ホール内では捨てられません。
託児は行っていません。安全のため、お子さんの見守りをお願いします。
未就学のお子さんが遊ぶときには、保護者の付き添いが必要です。



Are you into anything lately? 最近、何かにはまっていますか。I'm into Japanese cuisine these days. 最近、日本料理にはまっています。Recently, I've gotten into Korean. 最近、韓国語にはまっています。もしもお子さんが、大好きな人形やおもちゃにはまっていたら、"My kid's totally into this doll/this toy right now—she takes it everywhere!"「うちの子、この人形/このおもちゃにはまって、どこにでも持っていくのよ」と言えます。『I am into + 好きなこと・もの』で「私は、(好きなこと・もの)にはまっている・夢中になっている」という意味になります。もし、さらに何かにとっぴりはまっていたら、am と into の間に totally をつけると、とっぴり感がでます These days, I'm totally into classical movies. 最近、昔の映画にとっぴりはまっています。という風に。

私は、この秋、仕事以外に何かとっぴりはまれるものを見つけたいです。

(アメリカ イリノイ州在住 東口たまき)

神戸大学大学院サテライト施設「のびやかスペース あーち」
〒657-0832 神戸市灘区岸地通 1-1-1 灘区民ホール 3 階
TEL&FAX 078-805-6090
HP <http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html>
開館日 火～土曜日(月曜、日・祝除く)

神戸大学大学院人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970
FAX 078-803-7971

かめのえんそく

●●●●●●●●●● 考えてみたかったこと ① ●●●●●●●●●●

今日は、いつか考えたいなと思っていた自分の中に印象に残っているある言葉についてじっくりと立ち止まってみたいと思う。

これまで、つい手が出てしまったり、物を壊してしまったりする子どもたちに出会ってきた。(映画のように、やんちゃな男の子が投げた椅子が飛んできたことは忘れられない思い出だ…笑)そして大抵、そうしてしまっただ後は、その子(たち)は「やってしまったな」とどこか落ち込んでいるのだった。気持ちが言葉よりも先に弾けたときに他者や自分、物にぶつけてしまうことがあるのは、障害のある子どもたちに限ったことではない。大人でもそうだ。私もそうだ。

そんな子どもたちのもどかしさのようなものを感じながら、特別支援学校に勤めていた頃の私も、日々、その子のその行動の背景にある思いは何だったのだろうかと考えていた。何を感じ、何を伝えたかったのか。自分が読み取ることができなかったその子の思いは何だったのか。知りたかった。そんな私に先輩の先生がかけてくれた言葉が

「〇〇さんの手って」

という手に着目する言葉だった。

つい、「だめなものはだめ」とその行為を止めることに必死になってしまいがちな自分がいることを感じ、背景にあるその子の思いは？と意識的に自分に問いかけるようにしていた私にとって、「〇〇さんの手」という言葉は、正直とても意外な言葉で、なんとするとんと落ちず、でもとても気になる言葉だった。

まず感じたことは「『その子』じゃなくて『手』…『手』なの？」という疑問。「その子の思いは？」とひたすらに考えていたからこそ、手が物体化され、その子の思いから切り離されてしまったように感じたのだと思う。でも今思うと、その時の私は、背景にあるその子の思いを考えようとすればするほど、逆に、「叩いてしまう〇〇さん」を捉えようと必死になっていたのかもしれない。先生方の口癖も「その子の思いは？」であるように、先生方ももちろん、いつも子どもたちの背景にある思いを考えようとするを前提にしていた。その上で私に、違った視点をくれたのだった。

「なぜ、そうしたのだろう？どんな思いだったんだろう？」考えて考えて、少しずつ分かってくる時もある。だからわからないけれど知りたいと思いながら子どもたちとともに過ごす。一方で、一度その問いを横に置き、別のところからそもそものところを考えてみる。

手って…？すると、色々なその子(たち)の手が思い浮かぶ。よしよしと撫でてくれる手。夢中になって誇らしそうに、何かを作り出す手。私たちは、手を使って人と触れ合う。手でモノにはたらきかけて変化させる。何かを生み出す。そして、時に、叩く、壊すといった形になるように、内側にあるエネルギーを全部手に込め、ぶつけることもある。私たちは手を使い、外界にはたらきかけている。手を使って私たちはこの世界にはたらきかけているんだ。そう考えると、叩くことがなくなるように、壊すことがなくなるようにといった、手の動きをなくすことではなく、寧ろ、さあ、この手で一緒に何にはたらきかけようかという気持ちになっていくのだった。私は、「〇〇さんの手って」という言葉に、このような、ともににはたらきかける、ともに紡ぎだす人としてどうする？という先生方の問いを感じたのだと思う。

この社会の中に、何かをなくさせる関係ではなく、子どもたちが、自分が受け入れられている安心感もちながら、ともに何かにはたらきかける関係、何かを共有する関係が広がってほしい。そしてそれは、結果として、他者や自分、物にぶつけていた思いを変化させるのではないかと考えている。

~~~~~

今回のテーマは、同じように悩んでいる方にとっては、そんな簡単に綴ることができることではないと思わせてしまうものかもしれません。何かを傷つけてしまうということは、本人も周りも痛みを伴うもので、のんびりと見守れるものでもないからです。それは十分承知しつつ、今教育福祉現場のひっ迫した状況の中で、“問題行動”に対して、どんどん早急な解決方法を求められるようになっている社会の流れを含めて考えたいと思い今回の文章を書かせていただきました。

(あじさい)

